

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2030年の目指す姿

無線通信トータルエンジニアリングカンパニー。ソリューションを通じて人びとの安心
・安全を提供し社会に貢献

売上高
3,000億円

営業利益
300億円

営業利益率
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. 無線・通信事業の構造改革

日本無線グループの組織再編を推進。コア事業の強化・拡大、プラットフォーム活用、EDMS事業構築により成長を加速

3. マテリアル事業への対処

新コンセプト「Sustainable Smart Materials」掲げ、脱炭素・電動化・再生可能エネルギーなど成長分野のエレクトロニクス向け機能性素材へ軸足を移す

2. マイクロデバイス事業の構造改革

早期退職優遇制度による固定費削減。収益性改善を優先し、半導体事業の将来像をゼロリセットで描き直す

4. フューチャー・イノベーション本部設立

新たな研究開発体制構築。無線・通信技術を軸とした新規ビジネスモデルの創出を加速

③ 対処すべき課題

① 稼ぐ力の回復

- ・事業変革と再編を通じた構造改善の推進
- ・収益力向上と企業価値向上の実現

② 事業ポートフォリオの改革

- ・営業利益率10%以上を基準とした事業ポートフォリオの最適化
- ・低収益事業の抜本的な見直し

③ 成長領域への経営資源シフト

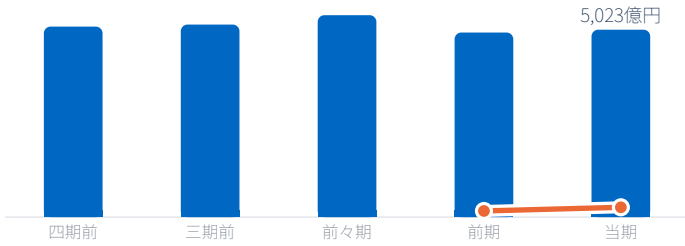
- ・脱炭素・電動化など成長分野への注力
- ・無線・通信事業売上3,000億円達成に向けた推進

面接で使えるポイント

- ・2030年に無線通信トータルエンジニアリングカンパニーとしての売上高3,000億円、営業利益300億円を目指す成長戦略
- ・無線・通信、マイクロデバイス、マテリアル事業の構造改革による変革と成長の実現
- ・フューチャー・イノベーション本部による新規ビジネスモデル創出と脱炭素・電動化などの成長分野への取り組み

証券コード 3105

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,023億円営業利益率
5.3%財務健康度
35点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 56.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
759万円

電気機器内 80位/225社

平均年齢
43.2歳

電気機器内 112位/225社

平均勤続
17.7年

電気機器内 63位/225社

女性管理職
11.8%

電気機器内 24位/182社

男性育休
100.0%

電気機器内 9位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日清紡ホールディングス、株主優待を廃止！12月末に1000

